

開講期間	配当年	単位数(週時間)	科目必選区分
後期	1年	2単位(2-0)	必修科目 (幼免・保育士資格：必修科目)
担当教員			
糸洲 理子・新垣 ゆかり			
授業形態：講義	ナンバリング：EEB3111102		
添付ファイル			

授業のテーマ及び到達目標	<p>【テーマ】 教育についての基礎的な理解</p> <p>【到達目標】 知識・理解の観点：教育の理念や意義、目的、制度などの基本的概念について学び、それらが教育の歴史や思想を通して、どのように現れてきたかについて理解することができる。また、教育及び学校教育がどのように捉えられ、変遷してきたかについて、乳幼児期の教育の特性や学校教育との相違、生涯教育について理解することができる。 技能の観点：教育について基礎的な理論を学習し、現代の教育の特徴と課題について自らの考えを述べることができる。 態度の観点：教育について自ら考えることができる。また、他者との討論をとおして、協働して教育を実践するための態度を獲得できる。</p>
授業の概要	教育が社会の中でどのように誕生して営まれてきたのか、教育の歴史や思想の変遷を通して教育の意義や目的、教育法規、教育制度など実践に必要な基礎理論について理解する。また、乳幼児期の教育の特性や学校教育との相違、生涯教育についても理解する。
授業計画	<p>第1回 講義概要及び評価基準の説明、「教育」とは何か？ 授業の始めに講義概要及び評価基準について説明する。 社会の中で営まれている「教育」とは何か、自ら受けてきた学校教育を通して改めて考える。 【事前学習】授業前にテキスト第1章 (pp. 1-7) を読み、わからない用語は確認しておくこと (2時間) 【事後学習】授業で学習した箇所の要点を整理すること (2時間)</p> <p>第2回 教育と児童福祉 教育と児童福祉の関連について理解する。 【事前学習】授業前にテキスト第1章 (pp. 8-9) を読み、わからない用語は確認しておくこと (2時間) 【事後学習】授業で学習した箇所の要点を整理すること (2時間)</p> <p>第3回 子どもの教育の今日的課題 社会の中で営まれている「教育」とは何か、その意義と目的について学ぶ。また、子どもの発達の特性をふまえた教育の在り方、特に児童福祉と教育の関係について理解する。 【事前学習】授業前にテキスト第2章 (pp. 10-20) を読み、わからない用語は確認しておくこと (2時間) 【事後学習】授業で学習した箇所の要点を整理すること (2時間)</p> <p>第4回 家庭教育 家庭で行われる教育とは何か、子どもの発達に必要な環境とその要因、発達の基本的概念、愛着の形成について理解する。 【事前学習】授業前にテキスト第3章 (pp. 21-32) を読み、わからない用語は確認しておくこと (2時間) 【事後学習】授業で学習した箇所の要点を整理すること (2時間)</p> <p>第5回 学校教育①：学校教育の機能 教育の中心となる「学校教育」の機能について理解する。 【事前学習】授業前にテキスト第4章 (pp. 33-36) を読み、わからない用語は確認しておくこと (2時間) 【事後学習】授業で学習した箇所の要点を整理すること (2時間)</p> <p>第6回 学校教育②：学校教育の法制度 教育の中心となる「学校教育」の法制度について理解する。 【事前学習】授業前にテキスト第4章 (pp. 37-49) を読み、わからない用語は確認しておくこと (2時間) 【事後学習】授業で学習した箇所の要点を整理すること (2時間)</p> <p>第7回 カリキュラム 教育実践の基礎理論となるカリキュラムについて理解する。 【事前学習】授業前にテキスト第6章 (pp. 63-75) を読み、わからない用語は確認しておくこと (2時間) 【事後学習】授業で学習した箇所の要点を整理すること (2時間)</p> <p>第8回 子どもの教育の歴史と現在①：教育の歴史と教育思想 教育の歴史と教育思想の変遷と現状について理解する。 【事前学習】授業前にテキスト第7章 (pp. 76-91) を読み、わからない用語は確認しておくこと (2時間) 【事後学習】授業で学習した箇所の要点を整理すること (2時間)</p> <p>第9回 子どもの教育の歴史と現在②：子ども観と教育観 歴史の中で子ども観と教育観の変遷と現状について理解する。 【事前学習】授業前にテキスト第7章 (pp. 76-91) を読み、わからない用語は確認しておくこと (2時間) 【事後学習】授業で学習した箇所の要点を整理すること (2時間)</p>

第10回	諸外国の教育の歴史と教育思想 諸外国で教育がどのように発生し、営まれてきたかについて、教育の歴史と代表的な教育思想を理解する。 【事前学習】授業前にテキスト第8章 (pp. 92-108)を読み、わからない用語は確認しておくこと (2時間) 【事後学習】授業で学習した箇所の要点を整理すること (2時間)
第11回	日本の教育の歴史と教育思想 日本で教育がどのように発生し、営まれてきたかについて、教育の歴史と代表的な教育思想を理解する。 【事前学習】授業前にテキスト第9章 (pp. 109-125)を読み、わからない用語は確認しておくこと (2時間) 【事後学習】授業で学習した箇所の要点を整理すること (2時間)
第12回	教育と評価 教育評価と教育経営について理解する。 【事前学習】授業前にテキスト第11章 (pp. 141-151)を読み、わからない用語は確認しておくこと (2時間) 【事後学習】授業で学習した箇所の要点を整理すること (2時間)
第13回	幼児教育 就学前の幼児教育・保育の目的・方法と小学校以降の教育の違いを理解する。 【事前学習】授業前に「幼稚園教育要領」第1章及び「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」第1章、「保育所保育指針」第1章を読むこと (2時間) 【事後学習】授業で学習した箇所の要点を整理すること (2時間)
第14回	子どもと教育専門職 子どもを教育する教育専門職について理解する。 【事前学習】授業前にテキスト第12章 (pp. 152-162)を読み、わからない用語は確認しておくこと (2時間) 【事後学習】授業で学習した箇所の要点について整理すること (2時間)
第15回	教育の現状と課題 現代社会の教育及び保育の現状と課題について理解する。 【事前学習】授業前に配付する資料を読み、インターネット等で情報を収集する。わからない用語は確認しておくこと (2時間) 【事後学習】授業で学習した箇所の要点を整理すること (2時間)
第16回	定期試験
授業における具体的な特色や方法	1) アクティブ・ラーニングを促す取組 <input type="checkbox"/> 2) 情報リテラシーに関する科目 <input type="checkbox"/> 3) ICTの活用 <input type="checkbox"/> 4) 初年次教育 <input type="checkbox"/> 5) 実践的PBL <input type="checkbox"/>
テキスト	北野幸子編著 『シードブック 改訂 子どもの教育原理』 建帛社 2018年 文部科学省 『幼稚園教育要領』 フレーベル館 2017年 文部科学省 『幼稚園教育要領解説』 フレーベル館 2018年 厚生労働省 『保育所保育指針』 フレーベル館 2017年 厚生労働省 『保育所保育指針解説』 フレーベル館 2018年 内閣府・文部科学省・厚生労働省 『幼保連携型認定子ども園教育・保育要領』 フレーベル館 2017年 内閣府・文部科学省・厚生労働省 『幼保連携型認定子ども園教育・保育要領解説』 フレーベル館 2018年
参考書	大豆生田啓友・三谷大紀 [編] 2026年 『最新保育小六法・資料集2026』 ミネルヴァ書房 その他、必要な資料は適宜配布する。
評価方法	試験50%、レポート20%、振り返りコメント15%、課題10%、討議5%で総合的に評価する。 なお、受講態度が著しく不良の場合は減点する。
評価基準	各評価方法に関してルーブリック評価を行う。詳細は初回講義時に説明する。 成績評価は100点満点で行い、以下のとおり評定します。 秀 (A) 90点以上：到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めている 優 (B) 80点～90点未満：到達目標を十分に達成している 良 (C) 70点～80点未満：到達目標をある程度達成している 可 (D) 60点～70点未満：到達目標を最低限達成している 不可 (F) 60点未満：到達目標を達成していない 欠 (K) — :出席不足
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	【○】 1. キリスト教精神に基づき、他者と異文化への理解を深め、子どもに仕え、平和でよりよい保育環境を実現するための態度を身につける。 【 】 2. 保育者としての豊かな感性を身につけ、自らを律し他者との対話を通して、主体的に保育を実践する態度を追究する。 【 】 3. 幅広い教養教育と専門科目を通して思考力・判断力・表現力を身につける。 【 】 4. 地域を拠点に、国内外の子どもや保育の課題を解決するために貢献できる。 【○】 5. 学則に定める修業年限を満たし、卒業に要する所定の単位数を修得した者に対し、短期大学士（保育）の学位を授与する。
履修上の注意	講義形式の授業だが、双方向型の講義を重視し、できるだけ発言の機会を設ける。 新聞やニュースを閲覧して、子どもや教育を取り巻く時事問題に関心を持つこと。 ※課題の提出期限を厳守すること。
オフィスアワー	糸洲：毎週*曜日*限目 糸洲研究室（西研3-8） 新垣：毎週*曜日*限目 新垣研究室
課題に対するフィードバック方法	課題及びレポートは、評価後に返却する。

開講期間	配当年	単位数(週時間)	科目必選区分
前期	1年	2単位(2-0)	選択科目 (幼免・保育士：必修)
担当教員			
平中 尚子・天願 順優			
授業形態：講義	ナンバリング：EEB3211131		
添付ファイル			

授業のテーマ及び到達目標	<p>【テーマ】 教職・保育職の意義と役割の理解</p> <p>【到達目標】 知識・理解の観点 ・現代社会における教職・保育職の意義と役割、倫理、制度的位置づけ、職務内容について説明することができる。 ・教職・保育職に必要な資質能力や専門性について説明することができる。 技能の観点 ・教職・保育職の意義と役割、教職・保育職に必要な資質能力や専門性について自らの考えを述べることができる。 態度の観点 ・他者と協働して討論に参加することができる。 ・教職・保育職につく者として、自己について客観的に振り返ることができる。</p>
授業の概要	幼稚園教諭・保育士・保育教諭の意義と役割、倫理、制度的位置づけ、職務内容（服務、身分保障、研修等）について理解し、自らの幼稚園教諭・保育士像を明確にする。また、幼稚園教諭・保育士・保育教諭の資質能力や専門性について理解し、幼稚園教諭・保育士の協働、関係機関との連携の在り方、現代の保育問題についても理解を深める。なお、クラス担当者はそれぞれの保育所保育士、幼稚園教諭としての実務経験を活かし、保育者の意義や役割、資質能力、職務内容等について、具体的な事例を踏まえて講義する。
授業計画	<p>第1回 講義概要及び評価方法、保育者とは 講義概要及び評価方法について理解する。 幼稚園教諭や保育士になるとはどのようなことか、自らの保育歴をふまえて考える。 【事前学習】授業前にテキスト第1章を読み、わからない用語は確認しておくこと（2時間） 【事後学習】授業で学習した箇所の要点を整理すること（2時間）</p> <p>第2回 保育所保育士の仕事と役割 保育所の一日のDVDを視聴し、保育所保育士の仕事と役割について理解する。 【事前学習】授業前にテキスト第3章を読み、わからない用語は確認しておくこと（2時間） 【事後学習】授業で学習した箇所の要点を整理すること（2時間）</p> <p>第3回 幼稚園教諭の仕事と役割 幼稚園の一日のDVDを視聴し、幼稚園教諭の仕事と役割について理解する。保育所と幼稚園の違いについて、グループ協議を行う。 【事前学習】授業前にテキスト第2章を読み、わからない用語は確認しておくこと（2時間） 【事後学習】授業で学習した箇所の要点を整理すること（2時間）</p> <p>第4回 保育教諭・施設で働く保育者の仕事と役割 保育教諭や施設で働く保育者の仕事と役割について理解する。 【事前学習】授業前にテキスト第4章を読み、わからない用語は確認しておくこと（2時間） 【事後学習】授業で学習した箇所の要点を整理すること（2時間）</p> <p>第5回 保育者の専門性① 保育者に求められる資質・能力 幼稚園教諭や保育士に求められる資質と能力について理解する。 【事前学習】授業前にテキスト第7章を読み、わからない用語は確認しておくこと（2時間） 【事後学習】授業で学習した箇所の要点を整理すること（2時間）</p> <p>第6回 保育者の専門性② 子ども理解からはじまる教育・保育 教育・保育を行う上で、子どもをどのように理解するかについて学ぶ。 【事前学習】授業前にテキスト第7章を読み、わからない用語は確認しておくこと（2時間） 【事後学習】授業で学習した箇所の要点を整理すること（2時間）</p> <p>第7回 保育者の専門性③ 保育の質の向上 教育・保育における保育の質とは何か考える。 【事前学習】授業前にテキスト第9章を読み、わからない用語は確認しておくこと（2時間） 【事後学習】授業で学習した箇所の要点を整理すること（2時間）</p> <p>第8回 保育者の連携・協働① 園内の保育者チームおよび家庭との連携 チーム保育の意義について理解する。また、子育て支援における幼稚園教諭や保育士の役割について理解する。 【事前学習】授業前にテキスト第11章を読み、わからない用語は確認しておくこと（2時間） 【事後学習】授業で学習した箇所の要点を整理すること（2時間）</p> <p>第9回 保育者の連携・協働② 地域における関係機関や専門機関との連携 地域の関係機関や専門機関との連携について理解する。 【事前学習】授業前にテキスト第12章を読み、わからない用語は確認しておくこと（2時間） 【事後学習】授業で学習した箇所の要点を整理すること（2時間）</p> <p>第10回 保育者の連携・協働③ 特別支援教育・保育 特別な支援を要する子どもの教育及び保育について理解する。事例について、グループ協議を行う。 【事前学習】授業前にテキスト第12章を読み、わからない用語は確認しておくこと（2時間） 【事後学習】授業で学習した箇所の要点を整理すること（2時間）</p>

	<p>第11回 保育者の資質向上とキャリア形成 教育・保育を行う者として、職場で上司や同僚とどのように学び合い、自己を高めるかについて理解する。 【事前学習】授業前にテキスト第13章を読み、わからない用語は確認しておくこと（2時間） 【事後学習】授業で学習した箇所の要点を整理すること（2時間）</p> <p>第12回 幼稚園教諭・保育士の制度的位置付け 幼稚園教諭や保育士の定義や身分保障、研修について学び、その職務を理解する。 【事前学習】授業前にテキスト第6章を読み、わからない用語は確認しておくこと（2時間） 【事後学習】授業で学習した箇所の要点を整理すること（2時間）</p> <p>第13回 保育者に求められる倫理 教育・保育を行う際に、幼稚園教諭や保育士に求められる倫理について理解する。事例について、グループ協議を行う。 【事前学習】授業前にテキスト第5章を読み、わからない用語は確認しておくこと（2時間） 【事後学習】授業で学習した箇所の要点を整理すること（2時間）</p> <p>第14回 保育の現代的な問題 保育における様々な問題について考える。 【事前学習】授業前にテキスト第14章を読み、わからない用語は確認しておくこと（2時間） 【事後学習】授業で学習した箇所の要点を整理すること（2時間）</p> <p>第15回 保育者になるための学び 求められる保育者像とこれからの学びについて考える。 【事前学習】授業前にテキスト第15章を読み、わからない用語は確認しておくこと（2時間） 【事後学習】授業で学習した箇所の要点を整理すること（2時間）</p> <p>第16回 定期試験</p>
授業における具体的な特色や方法	<p>1) アクティブ・ラーニングを促す取組 <input type="checkbox"/></p> <p>2) 情報リテラシーに関する科目 <input type="checkbox"/></p> <p>3) ICTの活用 <input type="checkbox"/></p> <p>4) 初年次教育 <input type="checkbox"/></p> <p>5) 実践的PBL <input type="checkbox"/></p>
テキスト	<p>野津直樹・宮川萬寿美 編著 『保育者論 ―主体性のある保育者を目指して―』 萌文書林 2024年 文部科学省 『幼稚園教育要領』 フレーベル館 2017年 文部科学省 『幼稚園教育要領解説』 フレーベル館 2018年 厚生労働省 『保育所保育指針』 フレーベル館 2017年 厚生労働省 『保育所保育指針解説』 フレーベル館 2018年 内閣府・文部科学省・厚生労働省 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』 フレーベル館 2017年 内閣府・文部科学省・厚生労働省 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』 フレーベル館 2018年</p>
参考書	その他、必要な資料は適宜配布する。
評価方法	試験50%、レポート15%、講義内課題10%、討議10%、振り返りコメント15%で総合的に評価する。 なお、受講態度が著しく不良の場合は減点する。
評価基準	<p>各評価方法に関してルーブリック評価を行う。詳細は初回講義時に説明する。 成績評価は100点満点で行い、以下のとおり評定します。</p> <p>秀 (A) 90点以上：到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めている</p> <p>優 (B) 80点～90点未満：到達目標を十分に達成している</p> <p>良 (C) 70点～80点未満：到達目標をある程度達成している</p> <p>可 (D) 60点～70点未満：到達目標を最低限達成している</p> <p>不可 (F) 60点未満：到達目標を達成していない</p> <p>欠 (K) —：出席不足</p>
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	<p>【 】1. キリスト教精神に基づき、他者と異文化への理解を深め、子どもに仕え、平和でよりよい保育環境を実現するための態度を身につける。</p> <p>【○】2. 保育者としての豊かな感性を身につけ、自らを律し他者との対話を通して、主体的に保育を实践する態度を追求する。</p> <p>【 】3. 幅広い教養教育と専門科目を通して思考力・判断力・表現力を身につける。</p> <p>【 】4. 地域を拠点に、国内外の子どもや保育の課題を解決するために貢献できる。</p> <p>【○】5. 学則に定める修業年限を満たし、卒業に要する所定の単位数を修得した者に対し、短期大学士（保育）の学位を授与する。</p>
履修上の注意	講義形式の授業だが、できるだけグループ協議の機会を設ける。 課題の提出は期限を厳守すること。
オフィスアワー	<p>平中：毎週月曜日4限 平中研究室（西研3-4） 天願：何か質問等がある場合は、メールにて対応いたします。以下のメールアドレスまでご連絡ください。 メールアドレス：info@cosmo-story.okinawa</p>
課題に対するフィードバック方法	課題及びレポートは、評価後に返却する。

開講期間	配当年	単位数(週時間)	科目必選区分
前・後期	2年次	2単位 (2-0)	選択科目 (幼免：必修)
担当教員			
長谷川 裕			
授業形態：講義	ナンバリング：EEM3232181		
添付ファイル			

授業のテーマ及び到達目標	学校における教育実践と、その背景にある学校制度や社会全体のあり方との関係について、社会学的視点から把握できるようになることが、授業のテーマであり到達目標です。		
授業の概要	学校教師が執筆した「教育実践記録」をいくつか取り上げ、その背景にある学校制度や社会全体のあり方をも把握しつつ、それらと関連させながら、記録に描かれている実践の意味を読み解いていきます。おおよそ次の「授業計画」欄に記された内容に触れていきますが、授業の状況を見ながら、より適切な内容・流れに変更します。各回の講義資料をTeamsにて配信します。		
授業計画	第1回	授業概要説明：教育社会学とは何かについての説明 【事前学習】 Teamsに事前に掲載されたレジュメ・資料に目を通しておく(2時間) 【事後学習】 授業で使用したレジュメ・資料を見ながら授業の内容を振り返る(2時間)	
	第2回	教育実践記録①の読み取り・社会学的分析(1)：「承認」の行為・関係と「存在論的安心」「自己肯定感」の観点から(ア) 【事前学習】 Teamsに事前に掲載されたレジュメ・資料に目を通しておく(2時間) 【事後学習】 授業で使用したレジュメ・資料を見ながら授業の内容を振り返る(2時間)	
	第3回	教育実践記録①の読み取り・社会学的分析(2)：「承認」の行為・関係と「存在論的安心」「自己肯定感」の観点から(イ) 【事前学習】 Teamsに事前に掲載されたレジュメ・資料に目を通しておく(2時間) 【事後学習】 授業で使用したレジュメ・資料を見ながら授業の内容を振り返る(2時間)	
	第4回	教育実践記録①の読み取り・社会学的分析(3)：「承認」の行為・関係と「存在論的安心」「自己肯定感」の観点から(ウ) 【事前学習】 Teamsに事前に掲載されたレジュメ・資料に目を通しておく(2時間) 【事後学習】 授業で使用したレジュメ・資料を見ながら授業の内容を振り返る(2時間)	
	第5回	教育実践記録①の読み取り・社会学的分析(4)：「承認」の行為・関係と「存在論的安心」「自己肯定感」の観点から(エ) 【事前学習】 Teamsに事前に掲載されたレジュメ・資料に目を通しておく(2時間) 【事後学習】 授業で使用したレジュメ・資料を見ながら授業の内容を振り返る(2時間)	
	第6回	中間のまとめと補足 【事前学習】 Teamsに事前に掲載されたレジュメ・資料に目を通しておく(2時間) 【事後学習】 授業で使用したレジュメ・資料を見ながら授業の内容を振り返る(2時間)	
	第7回	教育実践記録②の読み取り・社会学的分析(1)：近代学校という制度の特質と、そこにおける教え-教えられる関係成立の原理的困難性(ア) 【事前学習】 Teamsに事前に掲載されたレジュメ・資料に目を通しておく(2時間) 【事後学習】 授業で使用したレジュメ・資料を見ながら授業の内容を振り返る(2時間)	
	第8回	教育実践記録②の読み取り・社会学的分析(2)：近代学校という制度の特質と、そこにおける教え-教えられる関係成立の原理的困難性(イ) 【事前学習】 Teamsに事前に掲載されたレジュメ・資料に目を通しておく(2時間) 【事後学習】 授業で使用したレジュメ・資料を見ながら授業の内容を振り返る(2時間)	
	第9回	教育実践記録②の読み取り・社会学的分析(3)：近代学校という制度の特質と、そこにおける教え-教えられる関係成立の原理的困難性(ウ) 【事前学習】 Teamsに事前に掲載されたレジュメ・資料に目を通しておく(2時間) 【事後学習】 授業で使用したレジュメ・資料を見ながら授業の内容を振り返る(2時間)	
	第10回	教育実践記録②の読み取り・社会学的分析(4)：近代学校という制度の特質と、そこにおける教え-教えられる関係成立の原理的困難性(エ) 【事前学習】 Teamsに事前に掲載されたレジュメ・資料に目を通しておく(2時間) 【事後学習】 授業で使用したレジュメ・資料を見ながら授業の内容を振り返る(2時間)	
	第11回	教育実践記録③の読み取り・社会学的分析(1)：「個人化」進展と、家族の子育ての変容と困難(ア) 【事前学習】 Teamsに事前に掲載されたレジュメ・資料に目を通しておく(2時間) 【事後学習】 授業で使用したレジュメ・資料を見ながら授業の内容を振り返る(2時間)	
	第12回	教育実践記録③の読み取り・社会学的分析(2)：「個人化」進展と、家族の子育ての変容と困難(イ) 【事前学習】 Teamsに事前に掲載されたレジュメ・資料に目を通しておく(2時間) 【事後学習】 授業で使用したレジュメ・資料を見ながら授業の内容を振り返る(2時間)	
	第13回	教育実践記録③の読み取り・社会学的分析(3)：「個人化」進展と、家族の子育ての変容と困難(ウ) 【事前学習】 Teamsに事前に掲載されたレジュメ・資料に目を通しておく(2時間) 【事後学習】 授業で使用したレジュメ・資料を見ながら授業の内容を振り返る(2時間)	
	第14回	教育実践記録③の読み取り・社会学的分析(4)：「個人化」進展と、家族の子育ての変容と困難(エ) 【事前学習】 Teamsに事前に掲載されたレジュメ・資料に目を通しておく(2時間) 【事後学習】 授業で使用したレジュメ・資料を見ながら授業の内容を振り返る(2時間)	

	<p>第15回 全体のまとめ 【事前学習】 Teamsに事前に掲載されたレジュメ・資料に目を通しておく(2時間) 【事後学習】 授業で使用したレジュメ・資料を見ながら授業の内容を振り返る(2時間)</p> <p>第16回 学期末試験無し</p>
授業における具体的な特色や方法	1) アクティブ・ラーニングを促す取組 { } 2) 情報リテラシーに関する科目 { } 3) ICTの活用 { } 4) 初年次教育 { }
テキスト	特にありません。
参考書	久富善之・長谷川裕編 2019年 『教育社会学 第二版』 学文社
評価方法	各回の授業のコメント・レポート(30%)、教育実践記録読解の小レポート(20%)、学期末レポート(50%)レポートは、Teamsにて提出してもらいます。
評価基準	初回講義時に説明します。 成績評価は100点満点で行い、以下のとおり評定します。 秀 (A) 90点以上：到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めている 優 (B) 80点～90点未満：到達目標を十分に達成している 良 (C) 70点～80点未満：到達目標をある程度達成している 可 (D) 60点～70点未満：到達目標を最低限達成している 不可 (F) 60点未満：到達目標を達成していない 欠 (K) - : 試験欠席・レポート未提出・出席不足
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	【 】 1. キリスト教精神に基づき、他者と異文化への理解を深め、子どもに仕え、平和でよりよい保育環境を実現するための態度を身につける。 【 】 2. 保育者としての豊かな感性を身につけ、自らを律し他者との対話を通して、主体的に保育を実践する態度を追求する。 【○】 3. 幅広い教養教育と専門科目を通して思考力・判断力・表現力を身につける。 【 】 4. 地域を拠点に、国内外の子どもや保育の課題を解決するために貢献できる。 【○】 5. 学則に定める修業年限を満たし、卒業に要する所定の単位数を修得した者に対し、短期大学士（保育）の学位を授与する。
履修上の注意	特にありません。
オフィスアワー	質問などありましたら、Teamsで連絡ください。
課題に対するフィードバック方法	各回の授業のコメント・レポート、教育実践記録読解の小レポートに記載された内容を、名前は出さずに掲載した資料を作成し、授業の中で紹介しコメントします。

開講期間	配当年	単位数(週時間)	科目必選区分
前期	1年	2単位(2-0)	必修科目
担当教員			
大城 りえ			
授業形態：講義	ナンバリング：EEU3121101		
添付ファイル			

授業のテーマ及び到達目標	<p>【テーマ】子どもの心身の発達及び学びの過程の理解</p> <p>【到達目標】</p> <p>知識・理解の観点：子どもの心身の発達の過程と特徴を理解することができる。また、子どもの学びの過程と特性について理解することができる。</p> <p>技能の観点：子どもの心身の発達及び学びの過程を踏まえ、保育者としての子どもへの関わり方を説明できる。</p> <p>態度の観点：子どもの発達や学びに関心を持ち、グループ討議に積極的に取り組む。</p>
授業の概要	<p>①子どもの発達に関する心理学的知識を踏まえ、乳幼児期の子どもの心身(対人関係、自己、情動、身体的機能、運動、認知、言語)の発達の過程及び特徴を学び、保育者としての関わり方を理解する。</p> <p>②学習に関する基礎的知識を踏まえ、子どもの学びの過程と特性を学び、保育者としての関わり方を理解する。</p> <p>③支援を要する子ども達の発達について理解する。</p>
授業計画	<p>第1回 講義概要説明、発達心理学を学ぶ意義について 発達心理学を学ぶ意義を理解する。 【事前学習】テキストの序章を読み、わからない用語を調べる。(2時間) 【事後学習】発達心理学を理解することの意義についてまとめる。(2時間)</p> <p>第2回 発達段階・発達課題について 発達段階と発達課題について理解する。 【事前学習】テキスト第3章の1(1)の(1)(2)を読み、わからない用語を調べる。(2時間) 【事後学習】発達段階と発達課題の意味をまとめる。(2時間)</p> <p>第3回 発達理論・発達を規定する要因について(グループワーク) 心身の発達に影響する外的・内的要因(遺伝と環境)の相互作用と発達に関する諸理論を学ぶ。 【事前学習】配布資料を読み、わからない用語を調べる。(2時間) 【事後学習】発達理論と発達を規定する要因についてまとめる。(2時間)</p> <p>第4回 胎児期の発達について 胎児の発達を理解する。 【事前学習】第1章の1を読み、わからない用語を調べる。(2時間) 【事後学習】胎児の発達についてまとめる。(2時間)</p> <p>第5回 新生児期の発達について(沖縄の課題：低出生体重児を含む) 新生児の発達を理解する。 【事前学習】第1章の2を読み、わからない用語を調べる。(2時間) 【事後学習】新生児の特徴についてまとめる。(2時間)</p> <p>第6回 乳幼児期の対人関係の発達について 乳幼児期の対人関係の発達について理解し、保育者としての関わりを学ぶ。 【事前学習】第1章の10、11を読み、わからない用語を調べる。(2時間) 【事後学習】対人関係の発達(愛着)についてまとめる。(2時間)</p> <p>第7回 乳幼児期の自己と情動の発達について 乳幼児期の自己と情動の発達を理解し、保育者としての関わりを学ぶ。 【事前学習】第1章の3、4を読み、わからない用語を調べる。(2時間) 【事後学習】自己の発達と情動の発達についてまとめる。(2時間)</p> <p>第8回 乳幼児期の身体的機能と運動機能の発達について 乳幼児期の身体的機能と運動機能の発達を理解し、保育者としての関わりを学ぶ。 【事前学習】第1章の5、6を読み、わからない用語を調べる。(2時間) 【事後学習】身体的機能と運動機能の発達についてまとめる。(2時間)</p> <p>第9回 乳幼児期の知覚の発達について 乳幼児期の知覚について理解し、保育者としての関わりを学ぶ。 【事前学習】第1章の3を読み、わからない用語を調べる。(2時間) 【事後学習】乳幼児期の知覚の発達についてまとめる。(2時間)</p> <p>第10回 乳幼児期の認知の発達について 乳幼児期の認知について理解し、保育者としての関わりを学ぶ。 【事前学習】テキスト第1章の8を読み、わからない用語を調べる。(2時間) 【事後学習】幼児期の認知の発達についてまとめる。(2時間)</p> <p>第11回 乳幼児期のことばの発達について 乳幼児期のことばの発達を理解し、保育者としての関わりを学ぶ。 【事前学習】第1章の12、13を読み、わからない用語を調べる。(2時間) 【事後学習】乳幼児期のことばの発達についてまとめる。(2時間)</p> <p>第12回 乳児期の学びについて 乳児期の学びについて理解する。 【事前学習】テキスト第3章7の(2)を読み、わからない用語を調べる。(2時間) 【事後学習】乳児期の学びについてまとめる。(2時間)</p> <p>第13回 幼児期の学びについて</p>

	<p>幼児期の学びについて理解する。 【事前学習】テキスト第3章7の(3)を読み、わからない用語を調べる。(2時間) 【事後学習】幼児期の学びについてまとめる。(2時間)</p> <p>第14回 乳幼児期の学びを支える保育について(グループワーク)</p> <p>乳幼児期の学びを支える保育について理解する。 【事前学習】配付資料を読み、わからない用語を調べる。(2時間) 【事後学習】学びを支える保育者の関わり方についてまとめる。(2時間)</p> <p>第15回 支援を要する子どもたちの発達理解について 支援を要する子どもたちの発達を理解する。 【事前学習】配布資料を読み、わからない用語を調べる。(2時間) 【事後学習】支援を要する子どもの発達についてまとめる。(2時間)</p> <p>第16回 定期試験</p>
授業における具体的な特色や方法	1) アクティブ・ラーニングを促す取組 <input type="checkbox"/> 2) 情報リテラシーに関する科目 <input type="checkbox"/> 3) ICTの活用 <input type="checkbox"/> 4) 初年次教育 <input type="checkbox"/> 5) 実践的PBL <input type="checkbox"/>
テキスト	沼山博・三浦主博(編) 2020年 『子どもとかかわる人のための心理学』 萌文書林 文部科学省 2017年 『幼稚園教育要領』 フレーベル館 文部科学省 2018年 『幼稚園教育要領解説』 フレーベル館 内閣府・文部科学省・厚生労働省 2017年 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』 フレーベル館 内閣府・文部科学省・厚生労働省 2018年 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』 フレーベル館 その他担当者が準備します。
参考書	厚生労働省 2017年 『保育所保育指針』 フレーベル館 厚生労働省 2018年 『保育所保育指針解説』 フレーベル館
評価方法	定期試験50%、授業内レポート35%、受講態度15%
評価基準	各評価方法に関してルーブリック評価を行う。詳細は初回講義時に説明する。 ※遠隔授業の場合、評価方法を変更するため、ルーブリックについても変更あり。詳細は講義内で説明。 成績評価は100点満点で行い、以下のとおり評定します。 秀(A) 90点以上：到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めている 優(B) 80点～90点未満：到達目標を十分に達成している 良(C) 70点～80点未満：到達目標をある程度達成している 可(D) 60点～70点未満：到達目標を最低限達成している 不可(F) 60点未満：到達目標を達成していない 欠(K) - :出席不足
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	<input type="checkbox"/> 1. キリスト教精神に基づき、他者と異文化への理解を深め、子どもに仕え、平和でよりよい保育環境を実現するための態度を身につける。 <input type="checkbox"/> 2. 保育者としての豊かな感性を身につけ、自らを律し他者との対話を通して、主体的に保育を实践する態度を追求する。 <input type="checkbox"/> 3. 幅広い教養教育と専門科目を通して思考力・判断力・表現力を身につける。 <input type="checkbox"/> 4. 地域を拠点に、国内外の子どもや保育の課題を解決するために貢献できる。 <input type="checkbox"/> 5. 学則に定める修業年限を満たし、卒業に要する所定の単位数を修得した者に対し、短期大学士(保育)の学位を授与する。
履修上の注意	事前学習と事後学習をしっかり行い、保育の基礎である子どもの発達の理解に努めるため、授業中でも積極的に質問を行うこと。
オフィスアワー	毎週月曜日4限 西研3-7大城研究室 ※またはチャットで調整してください。
課題に対するフィードバック方法	授業内レポートは、授業内で返却します。定期試験は、各自のメールアドレスに返却します。

開講期間	配当年	単位数(週時間)	科目必選区分
前期	1年次	2単位 (2-0)	選択科目 (幼免・保育士：必修)
担当教員			
新垣 ゆかり			
授業形態：講義	ナンバリング：EEM3232171		
添付ファイル			

授業のテーマ及び到達目標	<p>テーマ：特別支援教育の制度の理念や仕組みと特別なニーズを有する子どもの特性を理解する。</p> <p>到達目標</p> <p>知識・理解の観点：特別支援教育の理念及び発達障害の特性とその対応についての知識を身につける。</p> <p>技能の観点：インクルーシブ教育〔保育〕並びに我が国におけるインクルーシブ教育システムの基本的な概念を正確に説明できる。</p> <p>態度の観点：障害を含む特別なニーズについて理解しようとする基本的な態度を身につけ議論に参加できる。</p>
授業の概要	<p>1) 特別支援教育の基本的な理念を理解し、インクルーシブ教育に当たっての留意点について学ぶ。</p> <p>2) 特別なニーズを有する(特別な支援を必要とする)子どもへの支援に関わる教育課程と多様な学びの場、および 就学・教育支援の仕組みと実際について学ぶ。</p> <p>3) 発達障害を含む障害由来の様々なニーズを有する子どもへの客観的な見方や評価の方法を身につける。</p> <p>4) 貧困、外国に繋がる子ども等、障害に由来しない特別なニーズを有する子どもへの客観的な見方や評価の方法を身につける。</p> <p>5) 関係諸機関の種類と役割を理解し、保護者も含めた特別支援教育論に必要な連携の在り方について理解する。</p>
授業計画	<p>第1回 障害児保育を支える理念</p> <p>1 「障害」の概念の正しい理解と障害児保育のこれまでの経緯からの歴史的変遷について学ぶ。</p> <p>2 インクルーシブ保育につながる考え方について学ぶ。</p> <p>① 「障害」の概念</p> <p>② 障害児保育の歴史的変遷</p> <p>[事前学習]：インクルーシブ教育の基本理念について復習をしておく (120分)</p> <p>[事後学習]：障害児保育の歴史的変遷について整理 (120分)</p> <p>第2回 インクルーシブ保育とは</p> <p>1 インクルーシブという考え方が生まれてきた経緯を踏まえ、インクルーシブ保育について学ぶ。</p> <p>障害のある子供とない子供が共に学ぶことについて知る。</p> <p>① インクルーシブ保育という概念が生まれてきた経緯</p> <p>② インクルーシブ保育とは何か</p> <p>[事前学習]：インクルーシブ教育の基本理念について復習をしておく (120分)</p> <p>[事後学習]：障害児保育の歴史的変遷について整理 (120分)</p> <p>第3回 身体面の支援の必要な子供の理解と援助</p> <p>1 身体面の機能が制限されている子供への理解し、支援方法についても理解を深め、発達の促進を目指すための安全・安心な環境についても知る。</p> <p>[身体面の支援の必要な子供の理解について]</p> <p>① 身体面の支援が必要な状態とは ② 医学的側面について</p> <p>③ 日常生活動作 (ADL) について</p> <p>[身体面の支援の必要な子供への援助について]</p> <p>① 子供理解 ② 保育場面における援助</p> <p>[事前学習]：身体面の支援の必要な子供にたいする自分のもつイメージについてまとめる。(120分)</p> <p>[事後学習]：身体面の支援の必要な子供の場合どのようなことでの困りにつながるか想像しながらまとめる。それぞれに関する留意点についてまとめる。(120分)</p> <p>第4回 知的な面の支援の必要な子供の理解と援助</p> <p>1 知的な面での発達の遅れがある子供たちの理解と援助について知る。</p> <p>2 個々の発達を理解し、個別のニーズに対応できるようにする。</p> <p>[知的な面の発達の支援が必要な子供の理解について]</p> <p>① 知的な面の支援が必要な状況とは ② 知的な面の発達について</p> <p>③ 知的障害/知的発達症の分類について ④ 知的障害/知的発達症の原因的な理解</p> <p>[知的な面の支援が必要な子供への援助について]</p> <p>① 保育場面における援助を考える ② 子供の理解を助ける関わりと環境</p> <p>③ 子供間の関わりを援助する</p> <p>[事前学習]：知的な面の支援の必要な子供に対するイメージをまとめる。(120分)</p> <p>[事後学習]：知的な面の支援の必要な子供の対応について可能な支援について考える。</p>

(120分)

第5回

感覚面の支援の必要な子供の理解と援助

- 1 視覚、聴覚、嗅覚などの感覚面において支援を必要とする子供を理解し、具体的な援助の方法について学ぶ。
- 2 子供の感覚面における発達の把握や感覚面の支援が必要な子供の状態を理解して適切な支援を目指す。

[感覚について]

- ① 感覚の起こるしくみ
- ② 感覚の種類

[感覚面の支援が必要な子供への援助について]

- ① 視覚について (視覚障害/視覚症児への支援)
- ② 聴覚について (聴覚障害/聴覚症児への支援)
- ③ 前庭感覚について
- ④ 皮膚感覚 (触覚) について
- ⑤ 感覚過敏のある子供の食に関する困難さについて
- ⑥ 感覚過敏のある子供の不器用さについて

[事前学習]:感覚面の支援の必要な子供に対するイメージをまとめる。(120分)

[事後学習]:感覚面の支援の必要な子供の対応について可能な支援について考える。(120分)

第6回

愛着・言語面の支援の必要な子供の理解と援助

- 1 愛着・言語面の支援が必要な子供について理解し、援助方法について知る。

[愛着に課題のある子供の理解と援助]

- ① 愛着とは
- ② 愛着に課題のある子供の行動
- ③ 愛着に課題のある子供の援助法

[言語面に課題のある子供の理解と援助]

- ① 言語障害/言語症とコミュニケーションの課題
- ② 言語面に課題のある子供の援助法

[事前学習]:愛着・言語障害に対してもつ自分のイメージについてまとめておく。(120分)

[事後学習]:愛着・言語障害のある子どもへの対応について整理し、留意点をまとめる。(120分)

第7回

行動面・学習面の支援の必要な子供の理解と援助

- 1 行動や学習に困難を伴う子供の理解と支援法について知る。
- 2 子供の行動に注目し、行動変容を促すための保育者の関わりを知る。

[行動面・学習面の支援の必要な子供の理解について]

- ① 注意欠如多動症 (ADHD) の理解に向けて
- ② 限局性学習症 (SLD) の理解に向けて

[行動面・学習面の支援の必要な子供への援助]

- ① ADHDのある子供への保育場面での関わりについて
- ② SLDのある子供への保育場面での関わりについて

[事前学習]:ADHD, SLDに対してもつ自分のイメージについてまとめておく。(120分)

[事後学習]:教育場面におけるADHD, SLDへの具体的な対応について考える。(120分)

第8回

情緒面・その他の支援の必要な子供の理解と援助

- 1 情緒面における支援の必要な子供等について知り、その援助方法を理解する。

[情緒障害/情緒症とは] ~情緒障害のについて

[情緒障害/情緒症のある子供の理解と支援]

- ①場面 (選択制) 緘黙について
- ②場面 (選択制) 緘黙のある子供の理解と支援

[重症心身障害/重度心身症・医療的ケアとは]

[外国にルーツのある子供の理解と支援]

[その他一ひとり親家庭・貧困家庭児の理解と支援]

[事前学習]:情緒面、その他の支援が必要な子供のことについて知り、まとめておく。(120分)

[事後学習]:それぞれ支援が必要な子供についてイメージして必要な支援について考える。(120分)

第9回

個別の指導計画の作成

- 1 個別の指導計画、個別の支援計画について知る。
- 2 保育計画と個別の指導計画との関連を知り、イメージをもてるようにする。

[個別の指導計画とは]

- ① 法令に定められた個別の指導計画
- ② 個別の指導計画と個別の支援計画の違い

[個別の指導計画の作成]

- ① 個別の指導計画のメリット
- ② 個別の指導計画の内容
- ③ 作成手順

[開示と守秘義務]

[個別の指導計画の実際] ~実際の計画をみてみよう もしも計画がなかったら・・・

[事前学習]:個別の指導計画についての知り、そのイメージをまとめる。(120分)

[事後学習]:個別の指導計画があった場合とない場合の利点と欠点について想像してみる。(120分)

第10回

個々の発達を促す生活や遊びの環境と記録

- 1 障害の有無にかかわらず、生活や遊びの主人公として活動できるようにするための生活や

- 遊びの環境の設定について理解しよう。
 2 保育者の書く「記録」の重要性について知り、よりよい環境設定に生かしていくか理解する。

[子供にとってわかりやすく居心地のよい保育場]

- ① 子供の目線で保育室を見回してみると
- ② 子供が安心できる環境 発達の課題と子供の特徴
- ③ 子供が集中しやすい環境
- ④ 子供が自分でわかる生活環境
- ⑤ 視覚支援一言以外の手がかり

[子供が自分の好きな遊びが楽しめる環境]

- ① 好きな遊びを選ぶことができるために
- ② 制作遊びに参加しやすくするために
- ③ 行動に参加しやすくするために

[個々の子供の姿を読み取るための記録]

～個々の子供の姿を読み取るとは、どのような記録が必要か。

[事前学習] 個々の発達を促す生活や遊びの環境とどのような環境かについてイメージをまとめる。(120分)

[事後学習] 記録の取り方について留意すべきこと、期待されることをまとめよう。(120分)

第11回

子供同士の関わり合いと育ち合い

- 1 子供同士の関わりを十分体験させる中で、発達に課題がある子供が子供集団の中で関わり、遊ぶことができるようになるプロセスとその際の支援について知る。

[対人意識の育ち]

- ① 社会性の育ち ② 社会性の発達の過程で起ってくる葛藤
- ③ 社会性の発達段階別の課題と大人の支援のポイント

[対人関係を育てる遊び ソーシャルスキル] 事例から学ぶ

[支援が必要な子供への対応] 事例から学ぶ

[事前学習]: 発達に課題がある子供が集団の中で遊ぶ場合を想定して、楽しく活動できる工夫を書き出す。(120分)

[事後学習]: 社会性の育ちをサポートする大人の支援はどのような支援が望ましいか、意見をまとめてみよう。(120分)

第12回

保育の計画の実践と評価

- 1 保育の計画の実践と評価について理解する。

[保育の計画の実践について]

- ① 保育の計画と「保育所保育指針」 ② 全体的な計画の効果的な実践のために

[保育の計画の評価について]

- ① 省察と専門性—自己評価を考える ② 評価の必要性を考える

[インクルーシブ保育における子供の健康と安全]

～すべての子供を対象とした一人一人が異なることを踏まえ保育を行うこと

[事前学習]: 保育の計画なぜ必要か自分の考えをまとめてみよう。(120分)

[事後学習]: 保育の計画を立てる場合、気をつけること、保育者として大切なことは何かまとめよう。(120分)

第13回

保護者や家族に対する理解と支援

- 1 障害特性のある子供の保護者や家族を理解し支援する役割があることを知る。
- 2 障害特性のある子供の保護者やそれを取り巻く家族の理解と支援について知る。

[障害特性のある子供の保護者への支援]

- ① 保育者に求められる保護者支援
- ② 保護者が我が子の障害特性と受け止めるということ

[障害特性のある子供を取り巻く家族の理解と支援]

- ① 障害特性のある子供を取り巻く家族の状況
- ② 障害特性のある子供の親の会での保護者間交流
- ③ 障害特性のある子供のきょうだいの理解と支援

[事前学習]: 障害特性のある子供の保護者や家族の思いについてイメージをもち、書き出す。(120分)

[事後学習]: 障害特性のある子供の保護者や家族への支援について具体的な対応について考える。(120分)

第14回

地域の専門家等との連携と小学校等との連携

- 1 地域の関係機関や進学する小学校等との連携の必要性について知る。
- 2 保護者との共通理解を行い、就学につなげていく必要性を知る。

[地域の関係機関との連携]

- ① 連携できる地域のリソース ② 児童発達支援センターとは ③ 連携の実際

[小学校等との連携]

- ① 連携の必要性 ② 引継書の作成

	<p>〔生涯にわたる一貫した支援のために〕 ① 他職種との連携 ② 一貫した支援の引き継ぎ</p> <p>その他 ① 自分が住む地域にあるリソースについて把握することの重要性を知る。 ② 沖縄県で作成されているサポートノート「えいぶる」についても知る。</p> <p>〔事前学習〕:「サポートノートえいぶる」を検索等し探す。(120分) 〔事後学習〕:沖縄県において、教育と福祉・保健分野に用意されているリソース(県レベル)について調べる。(120分)</p>
第15回	<p>インクルーシブ保育の課題と展望</p> <p>1 インクルーシブ保育の展望や課題について知り、保育者としてどのように取り組むかについて考えよう。</p> <p>〔障害特性のある子供をめぐる法整備〕 ① 特別支援教育の推進とインクルーシブ保育 ② 就学先の決定に関わる変更 〔わが国のインクルーシブ保育の課題と展望〕 ① 「障害者の権利に関する条約」から見たインクルーシブ保育の展開 ② 合理的配慮とインクルーシブ保育 ③ インクルーシブ保育の実現に向けて ④ インクルーシブな社会の実現に向けた課題と展望</p> <p>〔事前学習〕:インクルーシブ保育について調べ、まとめておく。(120分) 〔事後学習〕:インクルーシブ保育を目指すに当たり、あなたはどのように取り組みたいか。(120分)</p>
第16回	<p>定期試験</p> <p>15回の講義内容を踏まえて、記述式の期末試験を行います。 ※これまでの講義の中で特に印象に残った内容についてまとめておく。 ※「個に応じた教育」について、教員になった場合を想定して自分なりの取り組み姿勢について整理。</p>
授業における具体的な特色や方法	<p>1) アクティブ・ラーニングを促す取組 <input type="checkbox"/></p> <p>2) 情報リテラシーに関する科目 <input type="checkbox"/></p> <p>3) ICTの活用 <input type="checkbox"/></p> <p>4) 初年次教育 <input type="checkbox"/></p> <p>5) 実践的PBL <input type="checkbox"/></p>
テキスト	<p>「インクルーシブ保育論」 ミネルヴァ書房 伊丹昌一編著 (パワーポイント資料等:自作教材) 必要に応じて講義前週に配布</p>
参考書	<p>文部科学省「幼稚園教育要領」フレーベル館 2017年 文部科学省「幼稚園教育要領解説」フレーベル館 2018年 厚生労働省「保育所保育指針」フレーベル館 2017年 厚生労働省「保育所保育指針解説」フレーベル館 2018年 内閣府・文部科学省・厚生労働省「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」フレーベル館 2017年 内閣府・文部科学省・厚生労働省「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」フレーベル館 2018年</p>
評価方法	<p>定期試験(60%)、授業中の態度(20%)、授業への参加度(20%)</p>
評価基準	<p>各評価方法に関してルーブリック評価を行う。詳細は初回講義時に説明する。 成績評価は100点満点で行い、以下のとおり評定します。 秀(A) 90点以上:到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めている 優(B) 80点~90点未満:到達目標を十分に達成している 良(C) 70点~80点未満:到達目標をある程度達成している 可(D) 60点~70点未満:到達目標を最低限達成している 不可(F) 60点未満:到達目標を達成していない 欠(K) - :出席不足</p>
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	<p>【 】1. キリスト教精神に基づき、他者と異文化への理解を深め、子どもに仕え、平和でよりよい保育環境を実現するための態度を身につける。 【 】2. 保育者としての豊かな感性を身につけ、自らを律し他者との対話を通して、主体的に保育を实践する態度を追求する。 【○】3. 幅広い教養教育と専門科目を通して思考力・判断力・表現力を身につける。 【 】4. 地域を拠点に、国内外の子どもや保育の課題を解決するために貢献できる。 【○】5. 学則に定める修業年限を満たし、卒業に要する所定の単位数を修得した者に対し、短期大学士(保育)の学位を授与する。</p>
履修上の注意	<p>教職科目であることから、教員になる強い意志を持ち参加してください。 講義には目的意識を持って、主体的に参加し、講義を通じて自ら思考する態度を身に付けること。 演習の場面では積極的にディスカッションに参加してください。 また、講義中は他者への迷惑行為(携帯電話・メール・私語・離席等)を固く禁止します。 パワーポイント資料等に関連する資料は講義開始時に配布予定です、講義で使用しますので必ず確認してください。</p>
オフィスアワー	<p>毎週●曜日●限目 授業終了後、あるいは次回授業前に質問を受け付けます。 連絡はメール(arakaykr0421@outlook.jp)あるいはチャットでお願いします。</p>
課題に対するフィードバック方法	<p>課題などの詳細は授業内で説明予定です。</p>

開講期間	配当年	単位数(週時間)	科目必選区分
前期	2年次	2単位 (2-0)	選択科目 (幼免・保育士：必修)
担当教員			
平中 尚子			
授業形態：講義	ナンバリング：EEM3232101		
添付ファイル			

授業のテーマ及び到達目標	<p>【テーマ】 教育課程の意義や編成方法の理解</p> <p>【到達目標】 知識・理解の観点：幼児教育・保育における教育課程・全体的な計画の役割や機能、カリキュラム・マネジメントについての考え方を説明することができる。 技能の観点：教育課程等の編成方法の理論的知識を活用し、指導計画を立案することができる。 態度の観点：主体的学習者として、講義内課題や討議に参加する。</p>
授業の概要	幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領、保育所保育指針を基準として編成されている教育課程及び保育の全体的な計画について、その意義や編成の方法、カリキュラム・マネジメントについて理解する。さらに、指導計画の立案の方法や評価について、演習を通して具体的に学ぶ。本講義では、幼稚園及びこども園での実務経験のある担当教員が、実務経験を活かし、教育課程や全体的な保育計画について、資料や実例などを通して具体的に解説する。
授業計画	<p>第1回 講義概要、カリキュラムの基礎理論 講義概要・評価方法について知る。また、カリキュラムの定義・意義・役割について学ぶ。 【事前学習】シラバス・テキスト第1章を読み、語彙等を確認する。(2時間) 【事後学習】テキスト・配布資料等を精読する。(2時間)</p> <p>第2回 教育課程・全体的な計画の編成 関連法令を踏まえたカリキュラムの位置付け及び編成の目的・手順について学ぶ。 【事前学習】テキスト第2・3章を読み、語彙等を確認する。(2時間) 【事後学習】テキスト・配布資料等を精読する。(2時間)</p> <p>第3回 教育課程・全体的な計画と指導計画 指導計画の必要性や種類・内容について学ぶ。 【事前学習】テキスト第3章を読み、語彙等を確認する。(2時間) 【事後学習】テキスト・配布資料等を精読する。(2時間)</p> <p>第4回 指導計画の作成の基本 指導案作成の手順や方法について学ぶ。 【事前学習】テキスト第4章を読み、語彙等を確認する。(2時間) 【事後学習】テキスト・配布資料等を精読する。(2時間)</p> <p>第5回 指導計画の作成①：部分実習 保育を構想し、指導案を作成する。 【事前学習】模擬保育の指導案作成に必要な教材や資料を準備する。(2時間) 【事後学習】模擬保育の指導案を完成させる。(2時間)</p> <p>第6回 模擬保育①：部分実習 作成した指導案をもとに模擬保育を行い、グループ協議をする。 【事前学習】模擬保育に必要な教材を準備する。(2時間) 【事後学習】指導案に評価・反省を記入して提出する。(2時間)</p> <p>第7回 保育の記録と省察 保育記録や保育評価の視点について学ぶ。 【事前学習】テキスト第6章を読み、語彙等を確認する。(2時間) 【事後学習】テキスト・配布資料等を精読する。(2時間)</p> <p>第8回 0・1・2歳児の特徴と指導計画 発達に基づいた指導計画の立案について学ぶ。 【事前学習】テキスト第8・9章を読み、語彙等を確認する。(2時間) 【事後学習】テキスト・配布資料等を精読する。(2時間)</p> <p>第9回 3・4・5歳児の特徴と指導計画 発達に基づいた指導計画の立案と接続期カリキュラムについて学ぶ。 【事前学習】テキスト第10・11章を読み、語彙等を確認する。(2時間) 【事後学習】テキスト・配布資料等を精読する。(2時間)</p> <p>第10回 指導計画の作成②；責任実習 保育を構想し、責任実習指導案を作成する。 【事前学習】模擬保育の指導案作成に必要な教材や資料を準備する。(2時間) 【事後学習】模擬保育の指導案を完成させる。(2時間)</p> <p>第11回 模擬保育②：責任実習 作成した指導案をもとに模擬保育を行い、グループ協議をする。 【事前学習】模擬保育に必要な教材を準備する。(2時間) 【事後学習】指導案に評価・反省を記入して提出する。(2時間)</p> <p>第12回 指導計画の評価 模擬保育を振り返り、作成した指導案の改善を行う。 【事前学習】テキスト第13章を読み、語彙等を確認する。(2時間) 【事後学習】指導案を修正して提出する。(2時間)</p>

	<p>第13回 評価とカリキュラムマネジメント 評価について、その種類や方法について学ぶ。また、PDCAサイクルやカリキュラム・マネジメントについて理解する。 【事前学習】テキスト第7章を読み、語彙等を確認する。(2時間) 【事後学習】テキスト・配布資料等を精読する。(2時間)</p> <p>第14回 特別支援教育・保育における指導計画 特別支援教育・保育における指導計画の立案と配慮の視点について学ぶ。 【事前学習】テキスト第5章を読み、語彙等を確認する。(2時間) 【事後学習】テキスト・配布資料等を精読する。(2時間)</p> <p>第15回 幼稚園幼児指導要録、保育所児童保育要録、認定こども園園児指導要録 幼児教育施設における要録の役割や義務付けられた背景について学ぶ。 【事前学習】テキスト第6を読み、語彙等を確認する。(2時間) 【事後学習】テキスト・配布資料等を精読する。(2時間)</p> <p>第16回 定期試験なし</p>
授業における具体的な特色や方法	<p>1) アクティブ・ラーニングを促す取組 <input type="checkbox"/></p> <p>2) 情報リテラシーに関する科目 <input type="checkbox"/></p> <p>3) ICTの活用 <input type="checkbox"/></p> <p>4) 初年次教育 <input type="checkbox"/></p> <p>5) 実践的PBL <input type="checkbox"/></p>
テキスト	<p>安部孝 編『保育実践につなぐカリキュラム論 教育・保育の計画と評価』みらい 2023年 文部科学省 2017年 『幼稚園教育要領』 フレーベル館 文部科学省 2018年 『幼稚園教育要領解説』 フレーベル館 ※必要な資料は適宜配布する。</p>
参考書	<p>厚生労働省 2017年 『保育所保育指針』 フレーベル館 厚生労働省 2018年 『保育所保育指針解説』 フレーベル館 内閣府・文部科学省・厚生労働省 2017年 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』 フレーベル館 内閣府・文部科学省・厚生労働省 2018年 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』 フレーベル館</p>
評価方法	<p>小テスト30%、指導案、教材研究50%、模擬保育20% これらを総合的に評価する。</p>
評価基準	<p>各評価方法に関してルーブリック評価を行う。詳細は初回講義時に説明する。 成績評価は100点満点で行い、以下のとおり評定します。 秀 (A) 90点以上：到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めている 優 (B) 80点～90点未満：到達目標を十分に達成している 良 (C) 70点～80点未満：到達目標をある程度達成している 可 (D) 60点～70点未満：到達目標を最低限達成している 不可 (F) 60点未満：到達目標を達成していない 欠 (K) —：出席不足</p>
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	<p><input type="checkbox"/> 1. キリスト教精神に基づき、他者と異文化への理解を深め、子どもに仕え、平和でよりよい保育環境を実現するための態度を身につける。 <input type="checkbox"/> 2. 保育者としての豊かな感性を身につけ、自らを律し他者との対話を通して、主体的に保育を实践する態度を追求する。 <input type="checkbox"/> 3. 幅広い教養教育と専門科目を通して思考力・判断力・表現力を身につける。 <input type="checkbox"/> 4. 地域を拠点に、国内外の子どもや保育の課題を解決するために貢献できる。 <input type="checkbox"/> 5. 学則に定める修業年限を満たし、卒業に要する所定の単位数を修得した者に対し、短期大学士（保育）の学位を授与する。</p>
履修上の注意	<p>提出物は期限厳守とする。 グループ協議など可能な限り対話する場面を設けるため、主体的・積極的に参加する。</p>
オフィスアワー	<p>毎週月曜日4限目 平中研究室（西研3-4）</p>
課題に対するフィードバック方法	<p>提出された課題は、評価後に返却する。</p>